

邑知っ子

考え方や思いの届け方・言葉と文字 ～書き初め大会を通して～

自分の考え方や思いを伝える時にどういった伝え方があるのでしょう。

人は、「話し言葉」で伝える時は、主に人の耳（聴覚）へ届けます。その場合は、抑揚や間が言葉にプラスされ、さらに表情やその人が放つ雰囲気をも含めて目（視覚）や肌（触覚）へも伝達されます。伝えたいことがどうしても音声で届けられないときは、手話や指文字で届ける方法もありますね。

「書き言葉」で届ける場合は、主に視覚へ届けることになります。文字を書くときに、人は道具を使います。当たり前のことすぎて、日頃はさほど意識していないのですが、鉛筆・ボールペン・筆・・・こうやってお便りを書きながら気がついたのですが、今、私の指はキーボードを打って文書を作成しています。

少し前の話になりますが、「校長先生、筆を使って文字を書く機会は、将来どれくらいあるのでしょうか？毛筆の授業ってなくなりますか？」こういった質問を受けたことがあります。そのときの私は、「なくならないと思います。それは、筆で書いた文字の美しさを含め文化の継承だから、小学校の授業で残す必要があると思います。」と即答しました。私は、今もその気持ちに変わりはありません。

『書き初め』は文字を通して見えることが幾つかあります。美しく整った文字だけでなく、その文字を書いたときの児童の意気込み・姿勢・勢いや元気さこだわりなどが伝わってきます。児童の姿がそこに滲んでいます。書き初めに取り組むということは一つの文化の継承なのだと改めて感じました。

冬休み中の各家庭での取り組みありがとうございます。

校内書き初め大会 1月11日(火)

入選者

1年 酒井 真彩 安田 希衣 安中 心遙 山岸 幸月 吉野 悠

2年 北澤 進次郎 木村 雪花 坂下 恵麻 佐々木祥乃 坪田 美祐

3年 澤 夢奈 安中 瑛汰

4年 大谷 夢菜 北澤 啓太郎 酒井 結有 山下 晴

5年 荒木 志映 上田 怜 内田 悠斗 福田 珠生 吉野 結

6年 中越 心虹 宮下 真衣 山本 悠生 吉田 蒼空 吉野 真桜

